

令和5年8月15日

世田谷区建設工事総合評価方式の試行実施状況について

1 主旨

区では、令和3年2月の世田谷区公契約適正化委員会からの答申や区の公契約の現況等を踏まえ、公契約条例の趣旨を入札制度に具体的に反映させ、品質と価格のバランスを競う入札を目指す、世田谷区建設工事総合評価方式入札を導入し、令和4年度より試行として実施している。

昨年、9月末時点での実施状況をもとに制度検証をしたところ、事業者の取組み意欲の向上に寄与することが一定程度確認でき、直ちに見直すべき点は見受けられなかったものの、試行実施規模が十分ではないことから、年間発注件数の2～3割程度に規模を拡大し試行実施を継続することとしたところである。

当該制度について本年秋に実施する検証に向けて、現時点での試行実施状況を報告する。

2 試行実施状況

令和4年度

実施件数	落札者の得点状況			不調 件数 (参加者少数 による中止を 含む)	低入札価格 調査 実施件数
	価格点1位 かつ その他1位	価格点2位以下	価格点1位 かつ その他2位以下		
21件	10件	7件	2件	2件	0件

令和5年度（7月31日時点）

実施件数	落札者の得点状況			不調 件数 (参加者少数 による中止を 含む)	低入札価格 調査 実施件数
	価格点1位 かつ その他1位	価格点2位以下	価格点1位 かつ その他2位以下		
41件	21件	4件	9件	7件	1件

3 今後のスケジュール（予定）

令和5年 8月16日 試行状況を公契約適正化委員会にて報告

10月頃 検証結果を入札監視委員会、公契約適正化委員会にて審議

11月 企画総務常任委員会にて報告、区HP等で公表